

病院問題

問 市長に伺うが、令和2年度の病院全体の赤字は幾らか。

答 「市長」・・・（答弁なし）

問 市長は、病院の建て替えについて検討を指示したと先ほど言っていたが、我々議員、誰も知らなかった。市長の答弁では、ある程度の一定の判断を持って、議会に相談した上で判断すると言ったと思っていた。勝手に自分の数字の判断だけで病院建替を判断したということなのか。

答 「市長」市民のもろもろの期待感、病院の働き方、老朽化等も含めて建て替える時期だというように判断して指示をした。

問 議会に何で相談しなかったのか。議会は関係ないと言っているのか。

答 「市長」議会に相談をしなかったというよりも議員さん方に相談しなかったというのに対しては、拙速な意味もあるが、前々から決算状況を見て、なるべく早く判断したいと説明していた。拙速であったと言われるなら、私も反省する。

問 私は今の病院の状況、またコロナの問題も解決しない段階で、建て直すことは、断固反対する。そういう時期ではないと思う。

環境衛生

問 中継施設の解体に対する補助金が、銚子市なら単独で使えるという話だが、なぜ銚子市だけ使えるのか。匝瑳市は使えないのか。

答 「市長」この件に関しては、組合の全協で・・・

問 銚子市は今まで計画ではやらないと、1年間猶予期間を持って検討した後結論を出すと言っていた。3月の段階でその話はなかったが、いきなり循環型交付金の内容が変わったという事は、おかしくないか。

答 市長は広域議会で副管理者をやっているが、全部銚子市で決められて、時間がなくなってきたからこれで了解ください。恐らくそんな状態だと思いがいかがある。

問 「市長」そういう場面も幾つかあったのは、私も記憶している。

答 全協の時に荻谷議員から、きちんと計画の変更を行って、テーブルに乗せるようにという発言を受け、組合にとって一番有利になるような形で進めようということになった。

問 中継施設の事業については、明快で、クリーンで透明性を持ってやっていただきたい。



荻谷進一議員
(二十一世紀の会)

議員研修

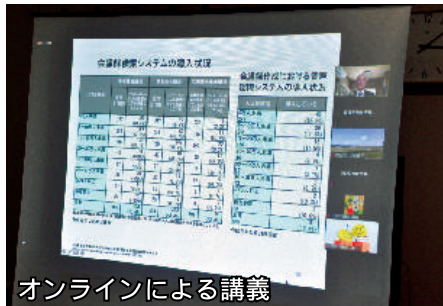
(ぎいんけんしゅう)

10月26日(火)

千葉県北総地区市議会正副議長会主催の議員研修会が、Web会議サービス「ZOOM」を使用したオンラインにより開催されました。講師に廣川聡美氏を招き、「議会デジタル化の意義と展望」をテーマに講義がありました。各議員は、議会棟内の議員控室や自宅等で受講しました。

10月28日(木)

議会改革等特別委員会では、市民に開かれた議会を目指し、議員改革等に関すること、また議員として人格と倫理の向上に努めるための調査・研究を行っています。その一環として、『「住民自治の根幹」としての議会の作動〜議会改革の到達点〜』について、大正大学社会共生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏を講師に招き、講演を受けました。



▲講演する江藤俊昭教授



講演を受講している議員

匝瑳市議会インターネット中継

をぜひ、ご利用ください！

匝瑳市ホームページ内、市議会ホームページから、本会議のライブ中継及び録画中継をご覧いただけます。市議会を傍聴に來られない方などは、ぜひご覧ください。

